

学びを生かし合い、よりよい生活を工夫し創造する資質・能力を育む技術・家庭科教育

～実践的・体験的な学習活動の充実を通じた消費生活を工夫し、創造する資質・能力の育成～

指宿市立 南指宿中学校

教諭 橋口 琉菜

目 次

1	研究主題について	2
(1)	研究主題	2
(2)	研究主題設定の理由	2
2	生徒の実態	2
3	研究の構想	3
(1)	研究の仮説	3
(2)	研究の内容	4
4	研究の実際	4
(1)	「指導と評価の計画」の工夫	4
(2)	生活や社会との結び付きのある学習活動の工夫	5
	ア 生活場面を想起させる学習教材の工夫	
	イ 実物を用いた生活や社会とのつながりが意識できる教材の工夫	
	ウ 外部人材を活用した工夫	
(3)	問題能力を育むための場の設定の工夫	7
	ア 自分事として課題設定させるための工夫	
	イ 質の高い解決策を追求するための工夫(学習者主体の授業を取り入れた工夫)	
5	研究のまとめ	9
(1)	研究の考察	9
(2)	研究の成果	10
(3)	研究の課題	10
6	おわりに	10

【引用・参考文献】

- 『中学校学習指導要領解説 技術・家庭編』 2017年 文部科学省
- 『資質・能力を育む授業デザインハンドブック～目標と指導と評価が一体化した授業デザインの実現に向けて～』 令和4年 鹿児島大学教育学部附属中学校

# 1 研究主題について

## (1) 研究主題

学びを生かし合い、よりよい生活を工夫し創造する資質・能力を育む技術・家庭科教育  
～実践的・体験的な学習活動の充実を通じた消費生活を工夫し、創造する資質・能力の育成～

## (2) 研究主題設定の理由

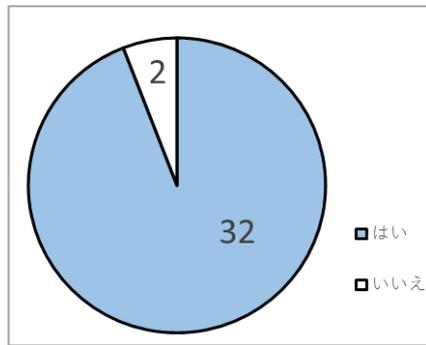
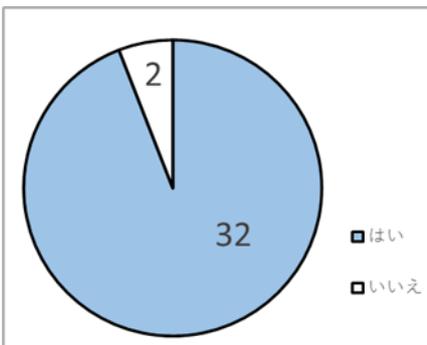
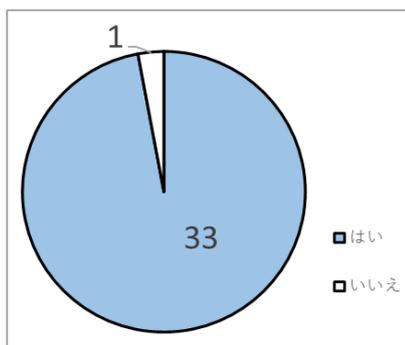
近年の金融情勢は、日本国内のみならず世界的に大きな変動を迎えている。日本では長期間の低金利政策が続き、円安傾向や株価の変動などが影響している。またコロナ渦以降、テクノロジーの進化によりキャッシュレス決済が急速に普及し、仮想通貨や電子マネーといったデジタル通貨も一般の消費者に浸透してきた。このような環境変化により、将来の経済活動を担う世代に金融リテラシーを高める教育が急務となっている。よって、これまでの消費生活の学習で習得した知識及び技能を活用し、持続可能な社会を構築するために生活の営みに係る見方・考え方を働かせたい。そして、これからの生活を展望して消費生活の課題を解決する力を養いよりよい生活を工夫し創造する資質・能力を育むことができるよう本研究を進めることにした。

# 2 生徒の実態

【実施：令和6年10月 対象2年生34人】

1 家庭科の授業が好きですか。

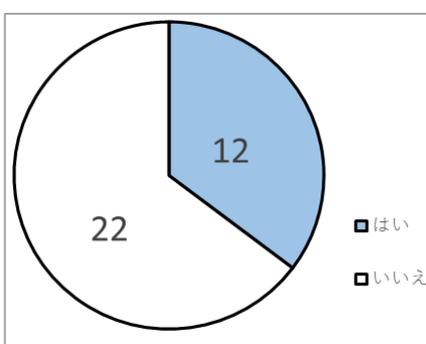
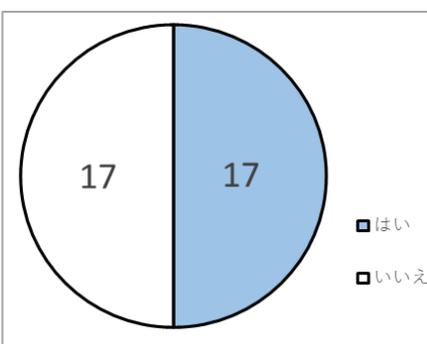
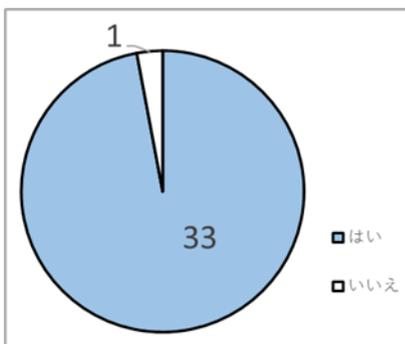
2 授業と生活のつながりを感じることがありますか。 3 消費生活(お金)の学習に興味がありますか



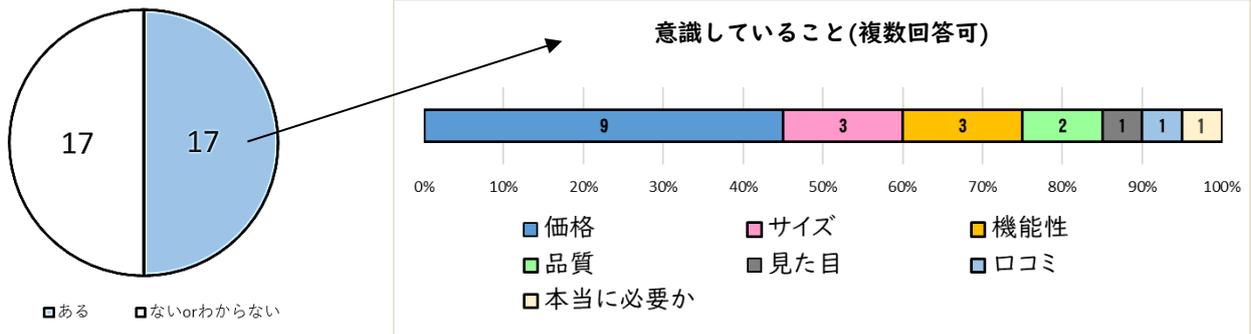
4 自分でお金を使うことがありますか。

5 インターネットで買い物をすることがありますか。

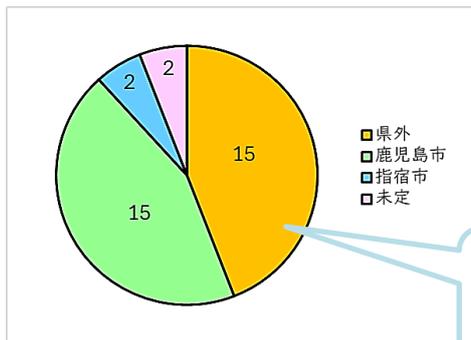
6 現金以外の支払いをすることがありますか。



6 商品を購入する際に意識していることはありますか。



7 将来、どこに住みたいですか。



8 これから授業で学ぶ“お金”について知りたいことがあれば書いてください。

電子マネーやクレジットカードの使い方(13人)  
 貯金の仕方(4人)  
 詐欺に騙されないようにするには?(3人)  
 消費税・将来払わないといけないお金・株と投資・募金(各1人)

福岡県7人 東京都5票  
 大阪府・長崎県・京都府1

アンケートの結果、ほとんどの生徒は技術・家庭科(家庭分野)の授業が好きで、授業と生活とのつながりを感じながら生活をしている。またほとんどの生徒が消費生活の学習に興味をもち、商品の購入経験やインターネットを使った商品の購入経験も多い。しかし、「商品を購入する際に意識していることはありますか。」という質問には半数が「ない・わからない」と回答し、回答した生徒も「価格」がほとんどであった。

以上のことから、生徒は、消費行動への関心が高く、学習に対して意欲的に取り組める生徒が多い。しかし、消費行動の際の視点が乏しいなど課題もある。そこで生徒が積極的に取り組むことのできる実践的・体験的な学習を効果的に取り入れながら自らの消費行動をよりよくするための手立てを考えさせることで、その知識を習得させるとともに、習得した知識及び技能を活用して計画的な金銭管理が適切に行えるようにした。

3 研究の構想

本研究においては、2年生での技術・家庭科(家庭分野) C 消費生活・環境「金銭の管理と購入」「消費者の権利と責任」の授業においての問題解決能力を育むための場の設定の工夫と生活や社会とのつながりが意識できる学習活動の工夫の研究を進める。

(1) 研究の仮説

技術・家庭科(家庭分野)の授業において、「指導と評価の計画」の工夫、生活や社会との結び付きのある学習活動の工夫、問題解決能力を育むための場の設定の工夫をすることによって、よりよい生活の実現に向けた消費生活について、学びを生かし合い、生活を工夫・創造し、実践する生徒を育成できるのではではないか。

(2) 研究の内容

- ア 「指導と評価の計画」の工夫
- イ 生活や社会との結び付きのある学習活動の工夫
- ウ 問題解決能力を育むための場の設定の工夫

4 研究の実際

(1) 「指導と評価の計画」の工夫

題材を貫いて問題解決的な学習ができるよう題材構成等を工夫した。習得した知識及び技能を活用して金銭管理の計画が適切に行えるように、題材の第1時では自己の課題設定を行い、自ら課題意識をもてるように工夫をした。その意識が連続発展するような題材指導計画を経て、生徒は多面的な視点を踏まえた質の高い解決策を導き出せると考えた。

題材	時間	学習活動	○評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
金銭の管理と購入	1	課題設定 自分の将来を見通して自分の消費生活に課題を見出し課題を設定する。	①計画的な金銭管理の必要性について理解している。	①物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして、課題を設定している。	①金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
	1	消費生活のしくみ 物資とサービスの特徴や消費生活のしくみについて理解し、環境に配慮した商品について知る。	②物資とサービスの特徴や消費生活のしくみについて理解している。	②物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について考え、工夫している。	
	1	いろいろな購入方法 購入方法について理解し、長所と短所について考える。	③購入方法の特徴について理解している。		
	1	支払い方法と売買契約 支払方法と売買契約について理解し、クレジットカードでの支払いを体験する。	④支払い方法の特徴と売買契約の仕組みについて理解している。		
	1	情報の収集と整理 チラシやインターネットを使った適切な物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理について考える。	⑤物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理について理解しているとともに、収集・整理が適切にできる。	③物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について実践を評価したり、改善したりしている。	
	1	消費者被害とその対応 消費者被害の現状や背景について理解し、予防の方法について考える。	⑥消費者被害の背景とその対応について理解している。		
	1	消費者の権利と責任 消費者の権利と責任について理解し、被害にあった場合、消費者としてどのような行動を取ればよいのかについて考える。	⑦消費者の基本的な権利と責任について理解している。		
	1	計画的な金銭管理 これまでの学習を生かし、課題解決のためにできることを考え、これからの生活を工夫する。		④物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	

図1 「指導と評価の計画」の工夫

また、題材の始めの授業では、振り返りシート(「すっど!」カード)を活用し、「自己課題」を見つめ、「目標」を記入させた。生徒は、振り返りシートに自己課題を設定し、その課題を解決するために毎回の授業に自分なりの目的をもって積極的に取り組むようになった。また、振り返りシートには「将来の理想の生活に近づくため・社会のために私ができること」を、記入する欄を設け、学習と生活とのつながりが意識できるようにした。生徒は自らの生活に学習を生かそうとする意欲が高まった。

将来の理想の生活に近づくためになりたいこと!(授業全8時間の目標をたてよう!)					
とても大きい家に住んで、自分ための上手なお金の使い方を覚える!					
時間	学習内容	授業の感想と反省	理想の生活に近づくため・社会のために私ができること!	今日の授業のキーワード! (テスト前に見返そう!)	学びを家庭で生かす・詳しく調べてみた経験があれば書こう! 【 月 】 【 日 】
1	課題設定	「自分が」どのぐらいの意識がかかるかを知りたい	節約のめ		
2	消費生活の仕組み	「フェアトレード」を意識して買いたいものを知りたい	フェアトレードを 意識!!	物産サービス フェアトレード	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           理想の生活に近づくため・社会のために私ができること!             フェアトレードを 意識!!             少しに注意!!             自分に合った 支払い方を!         </div>
3	いろいろな購入方法	JADMAマークをしっかりと見ておきたいものを知りたい	少しに注意!!	JADMAマーク Needs = ズ wants	
4	支払い方法と売買契約	自分がどの支払い方法をした方がいいかを知りたい	自分に合った 支払い方を!	三者間契約 前払 クレジット カード	
5	情報の収集と整理	どのように商品を買ったか詳しく知るようになることが大事!	本当の値段か 確認!!		
6	消費者被害とその対応	うとつきまをしっかりとつけておきたい将来生活したい	簡単に 信用しない!!	ネットサービス アフィリエイト 訪問販売 ネット通販	
7	消費者の権利と責任	わたさんの法律・制度・責任・権利を覚えておきたい!	いろいろなことを通して 活用する!!	2つの法律・2つの制度 2つの権利	
8	計画的な金銭管理	自分がしたいことを理由にできるように今から準備しておきたい	大きな 夢をもつ		

図2 「すっど!」カード (生徒記入)

## (2) 生活や社会との結び付きのある学習活動の工夫

### ア 生活場面を想起させる学習教材の工夫

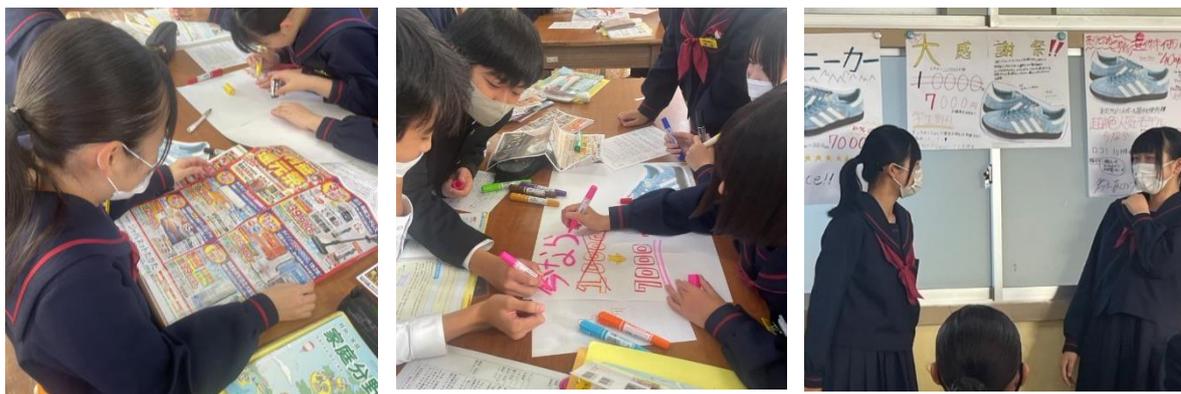
日本では、人手不足解消・現金決済のコスト削減・インバウンド客による消費拡大などの影響でキャッシュレス決済が普及してきており、現金以外の支払い方法についての学習が必要である。また、事前アンケートにおいて「キャッシュレス決済の仕方が知りたい」という生徒も多かったため、「さまざまな支払い方法」の学習では、クレジットカード支払い体験を行った。

日本クレジット協会から提供してもらった1人1枚のクレジットカードのレプリカと用意したキャッシュレス決済専用端末を活用した。クレジットカードを使うことは借金と同じであることや利用には信用が伴うことなども理解した上で、上手に活用することでよりよい消費生活を送れることを伝えた。生徒は初めて触るクレジットカードや端末を見ながら「こういう風になっているんだ」と新たな発見ができ、店員と客になりきってのロールプレイングに積極的に取り組むことができた。



図3 クレジットカード支払い体験をする生徒の様子

また、「生活情報の収集と選択」の授業では、「T1 グランプリ！」と名付けて、スニーカーのチラシ制作を行った。生活の中で正しい情報を見極めた上で、商品を購入できるようこの活動を設定した。本物のチラシを参考にしながら、どうすれば消費者が購入したいと思うチラシを制作できるか考えた。活動を通して、生徒は、チラシや広告に書かれている情報が全てではないことやよさをアピールするための表現に影響を受けていることに気付くことができた。また、誇大広告になってしまったグループもあり、生徒は感想に「どうすれば人を惹きつけられるか考えた」、「被害を受けないために、何が大切か意識したい」と書き、信頼できる情報を適切に確かめることの重要性に気付いた。



どのようなことをかいたり表現すれば、人がかきつけられるかなどを考慮することが大切。	チラシグランプリで、班のみんなと協力してみんなに
	分かりやすく、みやすいように伝えられた。
	消費者被害を受けないように、何が大切かを
	意識する。インタビューをしていた人の言っていたこと

図4 授業中の生徒の様子(上：授業の様子 下：感想)

#### イ 実物を用いた生活や社会とのつながりが意識できる教材の工夫

買い物は選挙の投票に例えられ、どの商品を購入するのかは、その商品を支持するかという意思表示にもなる。個人の消費行動が環境や社会に及ぼす影響についての理解を深め、自立した消費者としての責任ある消費行動を工夫することができるようになる必要がある。授業では、店舗で、どのチョコレートを購入するか考える学習を通して、消費行動が社会にどのような影響を与えるかについて考えさせた。2つのチョコレート(うち1つはフェアトレードマークのついたチョコレート)を用意し、実際に味や表示を比べてどちらを選ぶか考えさせたあと、ガーナのカカオ農園で働く子どもの動画を視聴した。フェアトレードマークがついている商品を購入することで社会の力になれることを知り、生徒は感想に「フェアトレードマークの商品を購入していきたい」と書くなど、環境や社会に配慮した自立した消費者としての意識が高まった。



のかを知ることができて楽しかった。フェアトレードマ
ークははじめて知って、カカオ生産国の子どもの
大変な生活を知れた。これからは、なるべくフェアトレード
マークのものも購入していきたいと思いました。

図5 活動中の生徒の様子(左：パッケージを見て話しをする様子 右：授業の感想)

ウ 外部人材を活用した工夫

題材のまとめの「計画的な金銭管理」において、お金の専門家であるファイナンシャルプランナー(以下FP)のインタビュー動画を活用できるように設定した。このことにより授業での学びがより実践的な知識及び技能として生活において活用されるとともに、生活を工夫し創造し、実践しようとする態度の育成につながった。FPからの動画で気付いた「生活の中で重視したいことを軸に生活を工夫する」という新たな視点を基に、自己追究や相互練り上げを行うことができた。また、普段の生活では聞くことのできない「将来理想の生活をするために、中学生のうちからできること」などを興味深そうに聞き、これからの生活に生かそうとする姿勢が見られた。



図6 インタビュー動画

(3) 問題解決能力を育むための場の設定の工夫

ア 自分事として課題設定させるための工夫

問題解決を主体的に行うためには課題を自分事として捉えることが重要だと考え、題材の始めの授業に「10年後の経済シミュレーション」を取り入れた。10年後の1か月にかかる生活費や、欲しいものやしたいことにかかる金額を見積もった。生徒の10年後の24歳の平均的な収入では、理想をすべて叶えることは難しい。理想とする生活により近づくために、これからの学習を進めていくことを伝えた。「将来はカッコいい車に乗りたい」、「家族と旅行に行きたい」など目標はさまざまであったが「将来のためにこれからの授業を真剣に受けない」と感想に書くなど、設定した自己課題を解決したいという意欲を見せた。

家庭プリント①

0 学習課題 理想の生活に近づくための自己課題をたてよう!			
1 10年後をシミュレーションしよう!			
日	項目	自分で選ぶ支出 選択肢(ここから一つ選ぼう)	選んだ番号・金額
10/6	食費(1か月)	①こだわりたい・しっかり食べたい … 50,000円 ②普通 … 30,000円 ③あまり食べない … 15,000円	② 30000円
10/10	家賃	①70,000円:1LDK(35㎡) ※築1年、オートロックマンション ②55,000円:1DK(25㎡) ※築10年、マンション ③45,000円:1K(17㎡) ※築20年、アパート	② 55000円
10/11	日用品 (化粧品なども含む)	①こだわりたい・多く買いたい … 10,000円 ②普通 … 5,000円 ③あまり買わない … 2,500円	② 5000円
10/12	洋服 ヘアカット	①こだわりたい・多く買いたい … 20,000円 ②普通 … 10,000円 ③あまり買わない … 5,000円	① 20000円
10/25	友達と食事	①夜景の見える高級レストラン … 15,000円 ②居酒屋 … 5,000円 ③ファミリーレストラン … 1,000円	③ 1000円
合計			111,000円

決まっている支出		
10/4	奨学金返済	15,000
10/18	携帯電話・インターネット	10,000
10/21	電気料金	3,000
10/22	水道料金	2,000
10/24	ガス料金	3,000
10/28	取引先との懇談会	4,000
10/28	交通費(1か月分)	6,000
合計		43,000
結果 収入: 176,000 円		
支出: 154,000 円(自分で選ぶ支出の合計+43,000円)		
残り: 22,000 円		
2 社会人になったらしてみたいこと・それにかかる値段		
旅行	¥	103,000
車	¥	2,000,000
洋服・バッグ	¥	100,000
3 シミュレーションをしてみても気づいた問題と自己課題を設定しよう。		
問題	収入で支出はおぎなえそうだけど、好きなことができない。	
課題(問題を解決するために身につけたい力)	キャッシュレスの使い方 さぎに合わない方法	

図7 「10年後の経済をシミュレーションしよう!」ワークシート(生徒記入)

自分の理想の将来を考えた<sup>り</sup>友達<sup>の</sup>理想を知れた<sup>り</sup>したことがとても楽しかったです。でも理想に近づくにはたくさんのお金が必要なので、節約やお金の使い方に注意して過ごしていきたいと思いました。1人暮らしになると、いろいろなものにお金を使わないといけないので食費や美容代など<sup>にお金</sup>にいくらくらい使えるんだろうなど少し不安にもなりました。

図8 生徒の感想

イ 質の高い解決策を追求するための工夫(学習者主体の授業を取り入れた工夫)

題材のまとめの学習では、題材1時間目で活用した「10年後の経済シミュレーション」を活用し、理想の生活をするためにできる消費行動の工夫を考えさせた。

過程	時間	学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	5	1-1 前時の振り返りをする。	1-1 前時の振り返りをする <sup>こと</sup> で、既習事項の確認を行い、本時の学習に生かせるようにする。	ロイノート・スクール
		2-1 学習課題を設定する。	2-1 生徒の発言から学習課題を導き出す。 2-2 学習課題を設定できない生徒には、補足説明を行う。	
		理想の生活をするためにどのような消費行動の工夫ができるだろう？		
展開	35	3-1 金銭の管理や物資・サービスの購入をする際の視点を確認する。 ニーズとウォンツ・フェアトレード クレジットカード・店舗販売と無店舗販売	3-1 題材の学習を振り返る <sup>こと</sup> で、既習事項の確認を行い、本時の学習に生かせるようにする。	すっどカード 教科書 既習のワークシート
		4-1 個人でよりよい金銭管理の方法について考える。	4-1 ロイノートを <sup>用</sup> いて個人の考えを可視化することで、他者の考えを踏まえて最適な解決策を追求できるようにする。 4-2 考えが深まらない生徒には、前時までのワークシートを振り返る <sup>こと</sup> で、多面的な視点をもって、根拠を明確にしたよりよい金銭の管理ができるように助言する。	ロイノート・スクール 参考資料
	5-1 個人の考えを共有し、互いにアドバイスを <sup>行</sup> い、よりよい解決策を練り上げる。	5-1 自ら学びの方法を選択できるように、参考資料の用意や、ロイノートでの考えの共有をできるようにするなど、主体的に課題解決に取り組めるようにする。		
	6-1 全体で考えを発表し、考えを学級全体で共有する。	6-1 自分の考えと比較しながら他者の考えを聞く <sup>こと</sup> で、参考になる点を自分の選択にも生かすことができるように助言する。		
	7-1 他者との共有をふまえて、自分の考えを練り直す。	7-1 問題解決のために根拠となる価値観をもって、よりよい選択を <sup>す</sup> ることの重要性に気付けるようにする。		
	8-1 考えをまとめて提出する。	8-1 よりよい生徒の意見を全体に紹介し、気付きを深めることができるようにする。		
	終末	10	9-1 本時のまとめを行う。 自分が生活の中で大切にしたいことを踏まえて、支払い方法や節約方法を工夫して、理想の生活に近づけるようにする。	9-1 生徒の発言からまとめを導き出す。
10-1 今後の生活に生かしたいことを考える。			9-2 ファイナンシャルプランナーの方のインタビュー動画を紹介し、学習した <sup>こと</sup> と生活とのつながりを意識できるようにし、生活で実践しようとする態度を高められるようにする。 10-1 本時の学びをすっどカードに記録することによって、学びの記録を残し、課題解決や今後の実践に繋げられるようにする。	すっどカード

図9 「計画的な金銭管理」学習指導案

「自己追求」後の「相互練り上げ」の場では、ロイロノート・スクールを活用して、各々の思考の視覚化を図り、共有しやすくすることで、より最適な解決策を追求できるようにした。また、問題解決するための資料や本を用意したり、ロイロノート・スクールを見て気になった考えを自由に聞きにいてもいいというルールを設けたりするなどして、生徒が解決方法のスタイルを選べるようにした。ロイロノート・スクールの提出箱の他の人の意見を見て新たな発見をする生徒や、配布した資料を基により自分に合った解決策を探す生徒、友人と話し合いながら考えを深める生徒など様々な学習スタイルの生徒がおり、各々に合った方法で解決策を見出すことができていた。学習者主体の授業を通してより質の高い課題解決につなげることができた。



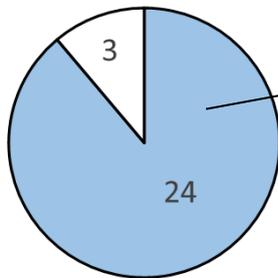
図10 授業の様子(左：ロイロノート・スクールを活用して話をする様子 右：資料・本コーナー)

## 5 研究のまとめ

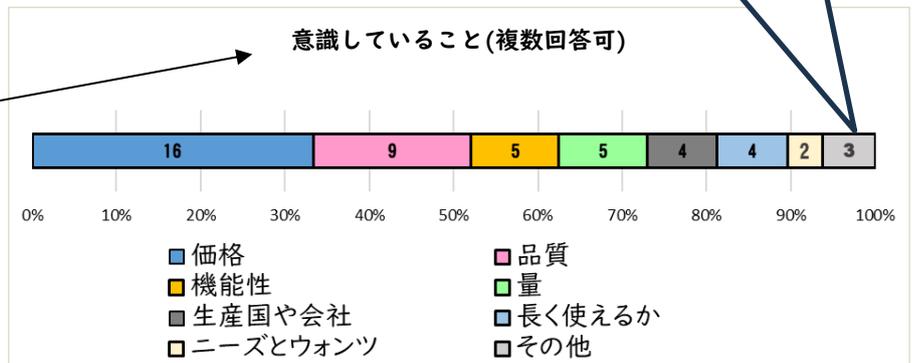
### (1) 研究の考察

【実施：令和6年12月 対象2年生27人】

・商品を購入する際に意識していることはありますか。



■ある □ないorわからない



・全8回の授業が印象に残ったかどうか◎○△で教えてください。

学習内容	工夫	◎とても印象に残った(青) ○印象に残った(朱) △あまり残らなかった(緑)
1 課題設定	(1), (3)-①	◎17 ○10
2 消費生活の仕組み	(2)-③	◎17 ○10
3 いろいろな購入方法		◎4 ○21 △2
4 支払い方法と売買契約	(2)-①	◎18 ○7 △2
5 情報の収集と整理	(2)-①	◎21 ○6
6 消費者被害とその対応	映像教材の活用	◎14 ○13
7 消費者の権利と責任		◎10 ○14 △3
8 計画的な金銭管理	(2)-②	◎17 ○10

・消費生活についての全8回の授業の感想を教えてください。

最初に未来の自分にかかるお金を知ってびっくりした。自分たちが  
だんたんしている買い物にもいろんな種類としくみがあって  
上手に使えるようになりたいなと思った。ネットなどでおこな  
うさまざまな種類があることを知った。'うそつき'を覚え

この授業で学んだことは将来、必ず自分が関わってくることなので、しっかり  
カードの使い方や、マナーにあわせたためには何を知ることかできました。  
実際にチョコを食べてみたり、チョコを作ってみたりという体験を通して、  
初めて知ることがあったので、これからの授業も、たくさん体験をして、  
いろいろなことを知りたいです。

どの授業もすごく頭に残っていて、自分で自分にびっくり!!

きまぐれな弱い私がおんなに太らせているなまてと思うほどしつかり覚えて

入っている。最初の10年後を考えたのがすごく楽しくて楽しかった。最後まで

特別感のある授業でワクワクした。今後、この8回で学んだ<sup>知識</sup>をいか

を動いて、買い物、生活、<sup>生活</sup>をしてみたい。

アンケートの結果、商品を購入する際に意識していることがありますかという質問に対して「ある」と答えた生徒が増え、視点も増えた。また、実践的・体験的な学習活動の工夫を行った授業を「とても印象に残った」と回答する生徒が多かった。感想にも「特別感のある授業でワクワクした」や「いろいろな体験をしてみて初めて知ったことがあった」、「これからは生かしていきたい」と記入する生徒が多くいた。

以上のことから、これまでの工夫によって、よりよい生活の実現に向けて消費生活について、学びを生かし合い、生活を工夫・創造し、実践する生徒を育成できたといえる。

## (2) 研究の成果

- 生徒間での対話が増え、活動がより活発になった。
- 生活や社会とのつながりが意識できる学習活動の工夫をしたことで、体験学習の経験の少ない生徒たちは興味をもって意欲的に活動に取り組んでいた。
- よりよい生活の実現に向けて、消費生活について、生活を工夫し、創造し実践する生徒を育成することにつながったと考える。

## (3) 研究の課題

- 本研究は、消費生活に特化したものであったため、もっと幅広い分野でこれらの工夫を生かしていきたい。
- より持続可能な社会の構築の視点でも生徒が学びを生かせるよう、今後注力していきたい。

## 6 おわりに

新規採用3年目がもうすぐ終わろうとしている。大変なことも多いが、私はこの仕事が好きだ。「教員は授業で勝負しなさい」と1年目に教わってから、試行錯誤しながら研究を進めてきた。上手くいくことばかりではないからこそ、より努力しようと思えるし、生徒がいきいきと学ぶ姿を見ると心の底から嬉しい。来年度は、持続可能な社会の構築に向けた学習の取組の実践に取り組みたいと考えている。これからも積極的に学び、挑戦し続ける教員でありたい。